

拠出金名:国連人権問題基金拠出金

国際機関等名	国連人権高等弁務官事務所 (英文名称・略称) United Nations Office of High Commissioner for Human Rights (UNOHCHR)					
種 別	〈国連本体〉		国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	外務省国際社会協力部人権人道課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート		
平成16年度	18,304	166		1\$ = 110円	(2004年) 0.3	100
平成15年度	32,051	263		1\$ = 122円	(2003年) 0.6	100
平成14年度	71,126	583		1\$ = 122円	(2002年) 1.5	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2004年度決算)		
1位	米国	10,058	19.2	当該年度の収入 52,340,074ドル		
2位	オランダ	5,789	11	当該年度の支出 51,813,150ドル		
3位	英国	5,656	10.8	次年度への繰越 526,924ドル		
4位	ノルウェー	5,303	10.1	会計検査機関名		
5位	スウェーデン	3,422	6.5	国連会計検査委員会 (Board of Auditors)		
上記の率及び順位 は2004年のもの				(現在の構成員の出身国: 南ア、仏、フィリピン)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
我が国は、従来より国連人権高等弁務官事務所(以下OHCHR)が行っている人権分野での活動の重要性を認識しており、世界の人権擁護と促進のために重要な役割を果たし得るよう、積極的に支援している。特に、最近では国連改革の中で人権分野の能力向上の一環として、人権委員会の理事会への格上げが決定された。OHCHRは人権委員会の事務局機能を果たしており、OHCHRの必要性は更に高まることが想定されることから、今後なお一層の積極的支援を実施していく必要がある。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
OHCHRは人権委員会や経済社会理事会での議論を踏まえ、更なる効率化及び合理化に向け機構改革努力を進めており、これらの努力については我が方としても評価している。ただし、今後能力強化のための組織拡大が行われる場合には、効率的な予算使用に関し更に留意する必要がある。						
邦人職員数 うち幹部以上	7人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	570人 1.4%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
これまでもOHCHRの幹部ポストに、邦人職員の採用を強く働きかけてきたところであり、今後も幹部ポストを含め、邦人職員採用への働きかけを積極的に行っていく。特にOHCHR能力強化のため、今後、予算・人員ともに大幅な増加が予定されているところ、日本人職員採用を更に積極的に働きかける。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。